

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

奥田 英信

1. 授業の概要(ねらい)

日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」、証券会社の「投資情報」を、1年間読んでいきます。マーケット情報には、経済・政治のあらゆる情報が集約されています。これをフォローすることで、本学のモットーである「実践的」に経済を勉強して行こうというのが、ゼミナールの趣旨です。

① 金融市場の動向を理解する:

少人数のゼミの利点を生かして、日々の金融市場の変化を理解し、説明できるようになる。

② 金融リテラシーを高める:

ライフステージに合わせた資産形成・運用の基礎知識をつける。

③ プレゼンテーション(レポート作成)になれる。

市場予想についてグループで短い定期報告をする。

2. 授業の到達目標

① 言語能力と論理的思考力を高め、それを基に市場の動きについてプレゼンテーションすることができる。

② 市場の動きや世界経済の動向について、他者との協働し自分の考えを発表できる。

③ 市場の動きや世界経済の動向について、自分で調査し発表できる。

④ 毎週の市場の変化について課題を発見し、それを解決する方法を考え提案できる。

3. 成績評価の方法および基準

「無断欠席は3回、報告予定なのに無断欠席は1回で、不合格」というルールにします。

レート予想の課題(50%)、授業中の平常点(30%)、期末感想文(20%)レポート作成と発表について、総合して評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本経済新聞(朝・夕刊) 日本経済新聞「マーケット総合」「投資情報」 日本経済新聞

参考文献

大和証券 『ダイワ投資情報ウィークリー』 大和証券

5. 準備学修の内容

毎週の為替レート予想は必ずすること。毎週、継続して市場をフォローしていくことが大事です。

自分が予想する理由をよく考えて、実際に正しかったのかを後で確認する、というのを続けてください。

予想のポイントをどこに置くか、という視点でスキルアップを心がけて行きましょう。

6. その他履修上の注意事項

昨年は円安基調がほぼ1年続き、予想の立てやすい1年でした。今年は、レートの方向性が定まらず、予想の難しい1年になりそうです。日本、米国とも選挙が予定されていて、国際情勢も必ずしも安定的ではないのですが、毎週フォローして行きましょう。

7. 授業内容

【第1回】 演習の進め方を具体的に説明します。以下は、暫定的予定です。テキストについても相談しましょう。

【第2回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第3回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第4回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第5回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第6回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第7回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第8回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第9回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第10回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第11回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第12回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第13回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第14回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第15回】 学期中の相場を振り返って期末感想文を作成する。